

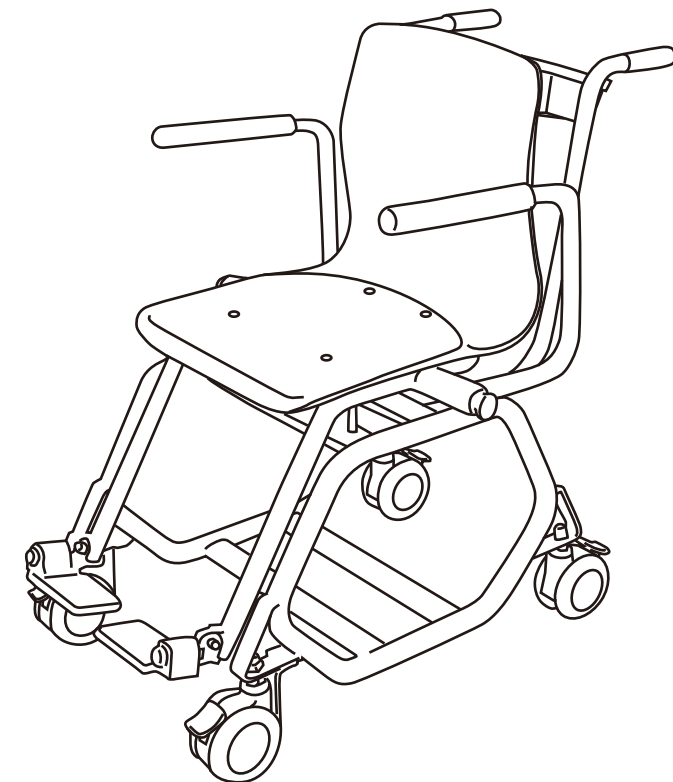
# チェアスケール TS-500

## 取扱説明書

### ごあいさつ

このたびは、タカノ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

- ・この説明書にはタカノ、本製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。
- ・ご使用前に、よくお読みの上、正しく安全な取扱い方法を十分理解されてからお使いください。
- ・この説明書は、いつでも出して見る事ができるよう、大切に保管してください。
- ・お求めいただきました商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更する事があります。



製品の保証について

この商品には、取扱説明書の巻末に保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店またはタカノ(株)までご連絡ください。なお、修理の際は以下のことをお伝えください。

- 1 お名前、お電話番号、ご住所
- 2 商品名、お買い上げ日(保証書をご覧ください)
- 3 故障内容・異常の状態(できるだけ詳しくお願いします)

保証期間後の修理についてはお買い上げの販売店もしくはタカノ(株)にお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。

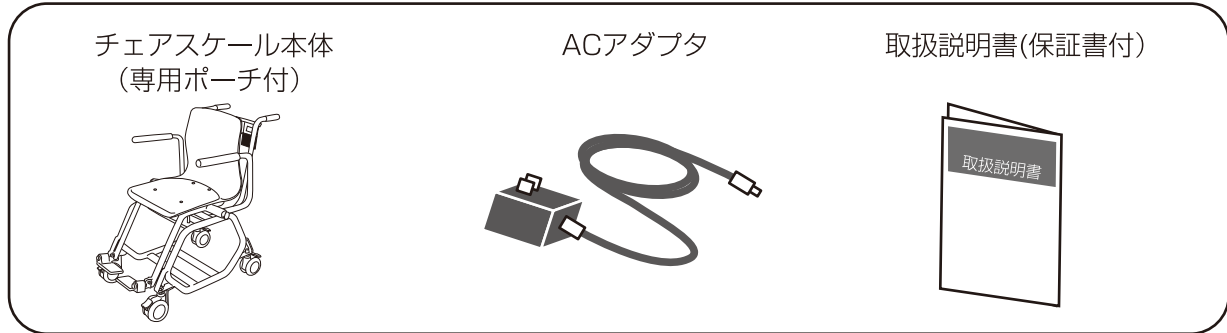
タカノ株式会社 健康福祉部

■オフィス 〒399-4431 長野県伊那市西春近下河原5331  
TEL.0265-72-3157  
0120-825-845(フリーダイヤル)  
FAX.0265-72-3203

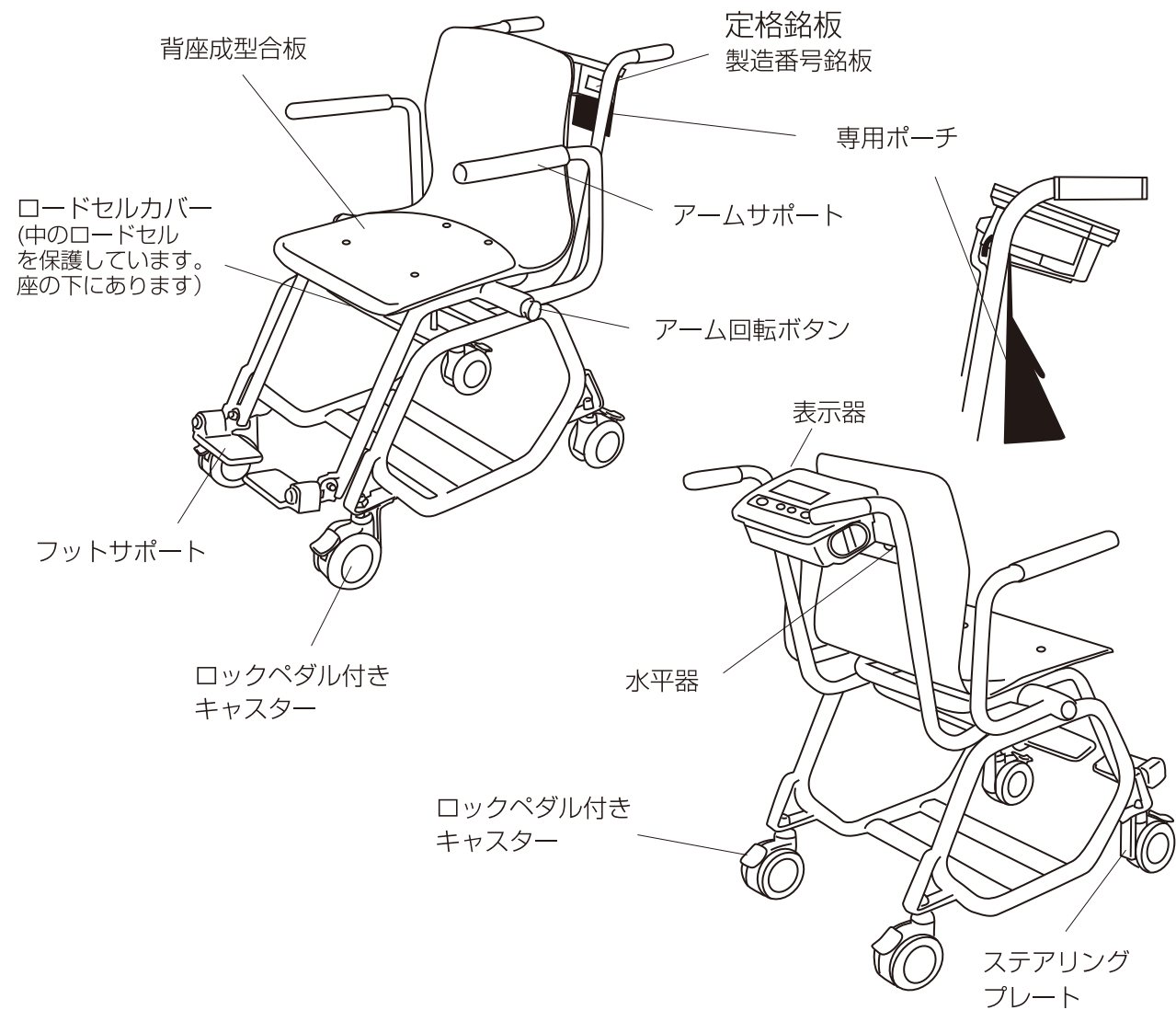
1.梱包内容と各部の名称・機能	
1-1 本体部の各名称	2ページ
1-2 表示器部の各名称と機能	3ページ
2.安全にお使いいただくために	5ページ
3.はじめに	
3-1 概要	13ページ
3-2 使用の制限	13ページ
4.使用前の準備	
4-1 設置	15ページ
4-2 電源の準備	15ページ
5.ご使用方法	
5-1 キャスターの使い方	17ページ
5-2 アームサポートの回転のしかた	18ページ
5-3 フットサポートの回転のしかた	19ページ
5-4 測定のしかた	20ページ
5-5 各機能の説明	22ページ
6.内部設定	
6-1 設定方法	24ページ
6-2 内部設定一覧	25ページ
7.お手入れの仕方	26ページ
8.専用ポーチ・オプション専用充電池について	27ページ
9.故障かな?と思ったら	28ページ
10.仕様	
10-1 本体仕様	29ページ
10-2 計量仕様	29ページ
10-3 外径寸法	30ページ
11.重力加速度の大きさと範囲	31ページ
12.保証とアフターサービス	32ページ
13.保証書	33ページ

1 梱包内容と各部の名称・機能

梱包を開けた際に、以下のものが入っていることをご確認ください。



1-1 本体部の各名称(機能については、15ページ～に記載されています)



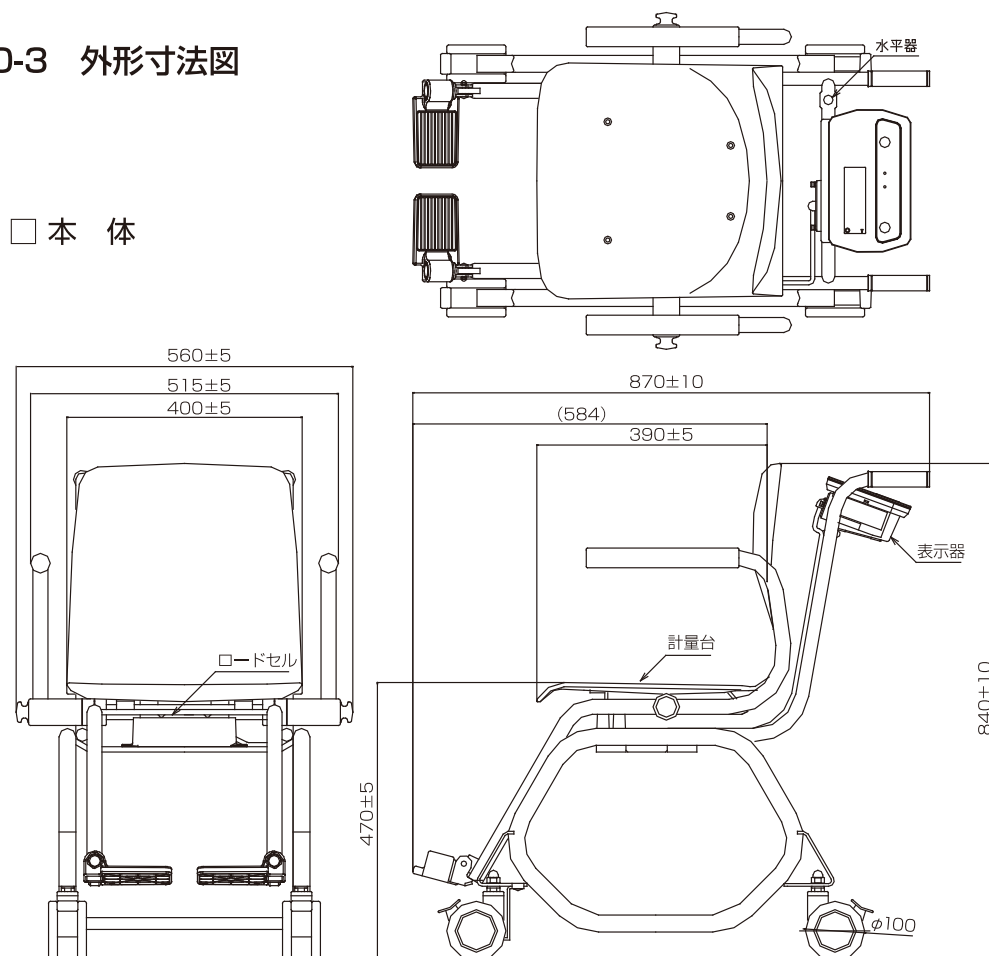
11 重力加速度の大きさと範囲

本体重計は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。  
2箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。例えば、  
千葉県の場合「9.796～9.799m/s<sup>2</sup>」または「9.797～9.800m/s<sup>2</sup>」が使用できます。

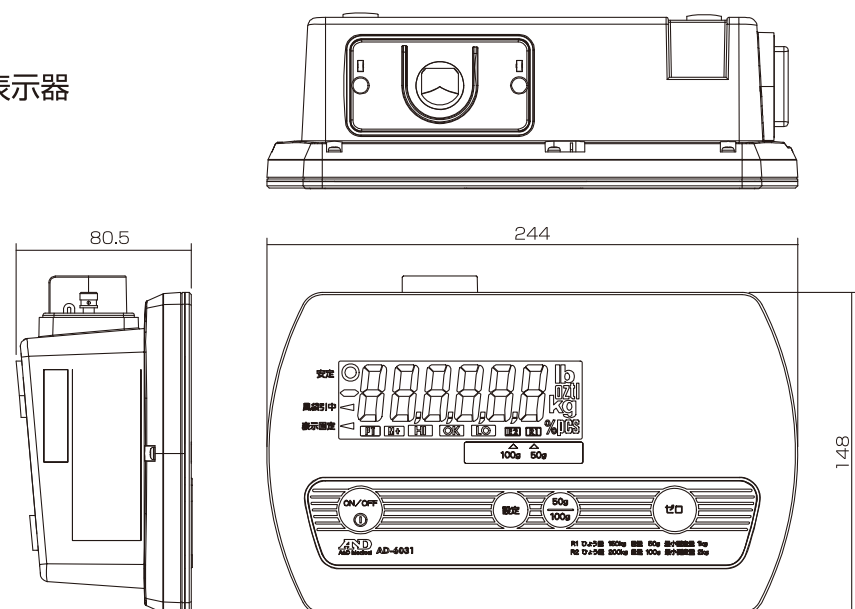
使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域(都道府県)
9.804～9.807m/s <sup>2</sup>	1	北海道(道北地方 道東地方)
9.803～9.806m/s <sup>2</sup>	2	北海道(道央地方 道南地方 十勝地方)
9.801～9.804m/s <sup>2</sup>	3	青森県 岩手県
9.800～9.803m/s <sup>2</sup>	4	宮城県 秋田県
9.799～9.802m/s <sup>2</sup>	5	宮城県 山形県
9.798～9.801m/s <sup>2</sup>	6	福島県 茨城県 新潟県
9.797～9.800m/s <sup>2</sup>	7	栃木県 千葉県 富山県 石川県
9.796～9.799m/s <sup>2</sup>	8	千葉県 神奈川県 山梨県 群馬県 埼玉県 東京都(八丈支庁・小笠原支庁を除く) 福井県 静岡県 岐阜県 愛知県 三重県 大阪府 和歌山県 奈良県 滋賀県 京都府 兵庫県 山口県 広島県 岡山県 鳥取県 島根県
9.795～9.798m/s <sup>2</sup>	9	神奈川県 山梨県 長野県 東京都(八丈支庁・小笠原支庁を除く) 静岡県 岐阜県 愛知県 三重県 大阪府 和歌山県 奈良県 滋賀県 山口県 広島県 岡山県 鳥取県 香川県 愛媛県 徳島県 高知県 長崎県 福岡県 佐賀県
9.794～9.797m/s <sup>2</sup>	10	東京都(八丈支庁・小笠原支庁に限る) 山口県 広島県 香川県 愛媛県 徳島県 高知県 長崎県 福岡県 佐賀県 熊本県 宮崎県 大分県 鹿児島県(薩摩地方に限る)
9.791～9.794m/s <sup>2</sup>	11	鹿児島県(薩摩地方を除く)
9.789～9.792 m/s <sup>2</sup>	12	沖縄県

## 10-3 外形寸法図

### □ 本 体

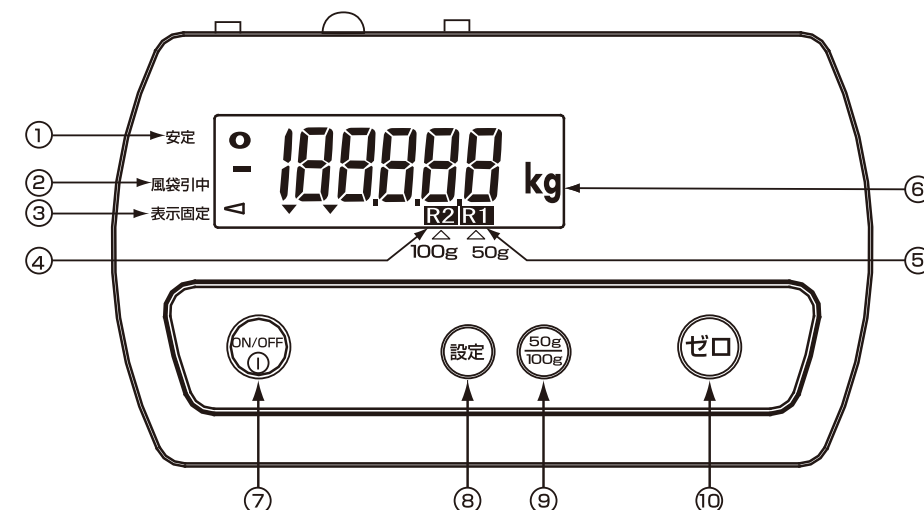


### □ 表示器



単位：mm

## 1-2表示器部の各名称と機能(機能の詳細は20ページ～に記載してます)



### 表示・シンボル

	表示・シンボル	説 明
①	安定 ○	計量値が安定しているとき点灯します。
②	風袋引中 ◀	容器（風袋）の重さが差し引かれているとき点灯します。
③	表示固定 ◀	体重値が確定した後、固定表示しているときに点灯します。
④	R2	最小表示が100gのときに点灯します。
⑤	R1	最小表示が50gのときに点灯します。
⑥	kg	計量単位"kg"が点灯します。

### 操作スイッチ

	スイッチ	説 明
⑦	ON/OFF ⓘ	電源をオン/オフします。 電源をオンしたときは、自動的にゼロを表示します。（パワーオンゼロ機能）
⑧	設定	体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑨	50g 100g	スイッチを押すたびに最小表示単位が50gまたは100gに切り替わります。
⑩	ゼロ	表示をゼロにすることができます。 測定値によっては、風袋引中マーク（◀）が点灯します。

# 10 仕 様

梱包から本製品を取り出しましたら、次の事を必ずご確認ください。

1. キャスターは、スムーズに回転しますか？  
ロックペダル付きキャスターはロックペダルを踏み込むと確実にロックされますか？
2. アームサポートはアーム回転ボタンを引っ張ったときにスムーズに回転しますか？また、元の位置に確実にもどり固定されますか？
3. フットサポートはスムーズに回転し収納・引き出しがきますか？
4. 背座成形合板及びフットサポートにヒビ、割れなどの異常はないですか？
5. 背座成形合板は確実にネジ4本で本体に固定されていますか？

- ・その他、本製品が安全に動作することを確認してからご使用ください。
- ・本製品を使用される際は、その都度安全確認を行った上でご使用ください。
- ・尚、万一異常が発見された場合、速やかに使用を中止し他の方が使用されませんよう、本体に故障中の表示を行い、弊社（32ページにお問い合わせ先等記載しております）又は販売店へご連絡ください。

## 10-1 本体仕様

品 番		TS-500
寸 法	全 高	840mm
	奥 行 き	870mm(フットレスト使用状態)
	全 幅	560mm
	座 幅	400mm
材 質	座 奥 行 き	390mm
	キャスター	直径100mm ロックタイプ
	フレーム	鋼管フレーム
背 座		成形合板
重 量		約26kg

## 10-2 測定仕様

レンジマーク	R1	R2
ひょう量	150kg	200kg
目量(最小表示)	50g	100g
最小測定量	1kg	2kg
精度等級	3級	
最大風袋引き量	ひょう量まで	
表示方法	液晶表示、文字高さ26mm、7セグメント	
使用温湿度範囲	-10℃～+40℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)	
電 源	ACアダプタ:AC100V 50/60Hz 3VA 乾電池(単2形4個)または充電池	
乾電池寿命	アルカリ乾電池使用時 約150時間	
充電池寿命	専用オプション AD6031-01使用時 約18時間	
計量皿寸法	398mm×390mm	

表示器のエラー表示

荷重超過エラー



計量値はひょう量を超えたときに出るエラーです。  
計量皿の上のものを取り除いてください。

レンジ超過エラー



重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。  
計量皿が何かに引っかかっていないか、ロードセルに異物が  
接触していないかなど確認してください。重量センサ、あるいは  
内部回路が故障している可能性もあります。

ローバッテリー



電池が消耗し電圧が下がったときに表示されます。  
新しい電池と交換してください。

電源電圧不足



ACアダプタ使用時、電源の電圧が低すぎるときに表示されます。  
周囲の配線状況など確認してください。

メモリ書き込みエラー



内部設定変更などでメモリへの書き込みを行ったとき、正常に  
記憶できなかったときに表示されます。一度電源切り、もう一度  
同じことを試してください。それでも表示されるときには、メモリ  
関係の故障が考えれます。



上記のエラーが解消できないとき、これ以外のエラー表示のときは、弊社（32ページに  
お問い合わせ先等記載しております）又は販売店へご連絡ください。

また、肘が回転しない・肘が固定されない・フットレストが動かない・ロックを解除しても  
移動ができないなどの表示器以外に故障がある場合は、ご使用を中止し弊社又は販売店へ  
ご連絡下さい。

●ここに表記した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。

- ・本製品を安全に正しくご使用していただくために、事前にこの取扱説明書をお読みになり  
ご理解ください。
- ・お読みになった後は大切に保管をしていただき、定期的に確認の上、記載内容を必ず守って  
ください。

表記と意味は次のようになっています。

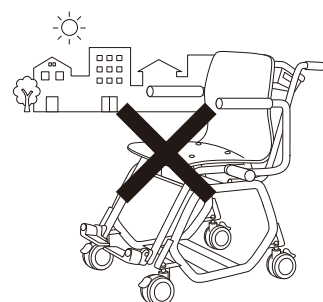
警告サイン	内 容
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を 覆う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を覆う可能性、 物的傷害の発生が想定される内容を示しています。



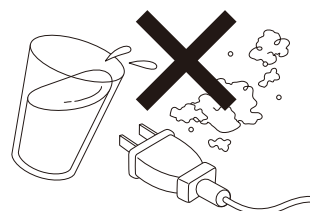
## 8 専用ポーチ・オプション専用充電電池について

### 警告

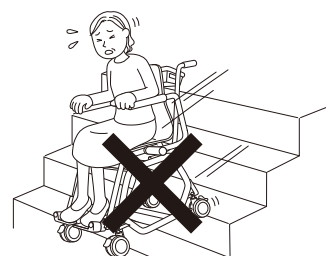
取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。  
このような使い方は絶対にしないでください。



屋外や、高温多湿な場所での使用・保管はおやめください。感電および故障の原因になります。



電源プラグに、ホコリや異物・水分を付着させないでください。火災などの原因になります。



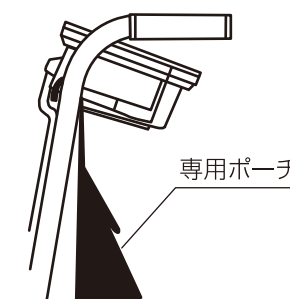
階段、エスカレーター・スロープなど傾斜のある場所では使用しないでください。



本製品の端に乗ると転倒する恐れがあります。  
座面の中央部に乗って下さい。

### 専用ポーチについて

本機には専用ポーチが付属しております。  
図のように、表示機左側にマジックテープで固定すると、ご使用にならない専用ACアダプタ (AX-TB196)、電池ケースを入れることができます。

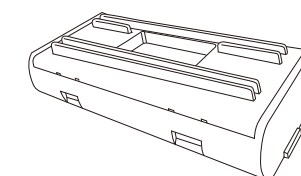


### 注意

専用ACアダプタ (AX-TB196)、電池ケース以外のは入れないでください。

### オプション専用充電電池について

オプションのAD6031専用充電電池パックは、取扱説明書9ページに従い本体に取り付けた後、専用ACアダプタ (AX-TB196) を接続すれば充電されます。  
充電は約15時間で終了します。



充電電池をお使いのとき、本機は約8時間ご使用になれますが、電池が消耗すると [LBO] の表示がされますので、そのときは再度専用ACアダプタ (AX-TB196) を電源に接続して充電してください。

### お知らせ

ACアダプタを接続しているときは、充電電池は消耗いたしません。

## 7 お手入れの仕方

### 点検

この商品はより高い安全性とより長い耐久性を追求して作られていますが、ご使用になる場所や条件、または長時間のご使用などによって変化することが考えられます。定期的な点検を必ず行って下さい。

### お手入れ

水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に付着した場合には直ちにふき取るようにしてください。

### 掃除について

掃除は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。

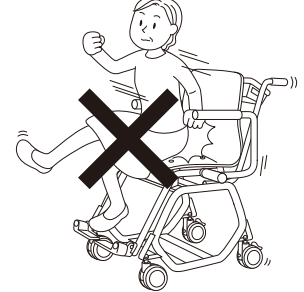


### 注意

変色・変質の原因となりますので、揮発性のもの（シンナー、ガソリン）などで絶対に拭かないでください。



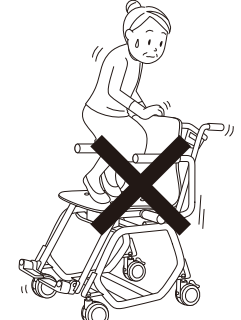
フットサポートを踏み台として使用しないで下さい。転倒、破損の恐れがあります。



座面に勢いよく腰掛けたり、座面に飛び乗ったり、強い衝撃を与えないでください。ケガや故障の原因になります。



アームサポートや表示器に座ったりもたれたりしないでください。転倒のおそれがあります。



座面の上で、立ったり、飛び跳ねたりしないでください。ケガや故障の原因になります。



車椅子のように、人を乗せて移動する目的で使わないでください。



本製品は一人用の設計です。二人以上の使用や、人以外の重いものを絶対に乗せないでください。





分解・改造しないで下さい。改造された製品については弊社はいかなる責任も負いかねます。



キャスターロックは、走行中のイスを停止させるための設計になっていませんので、走行中にキャスターのロック操作を行わないでください。



濡れた手で電源プラグを持たないでください。感電の恐れがあります。



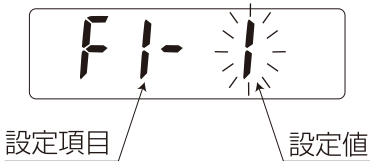
専用オプション部品以外を外付けして使用しないでください。

## 6-2. 内部設定一覧

設定項目	設定値	内容・用途	
オートパワーオフ機能	F 1－0	オートパワーオフ機能停止	自動的に電源を切る
	◆ F 1－1	電池使用時にオートパワーオフ機能が働く	
	F 1－2	電池、ACアダプタどちらでもオートパワーオフが働く	
	F 2－	項目 F 2－はありません	
	F 3－	項目 F 3－はありません	
	F 4～F 9	項目 F 4～F 9 は設定がありません	
表示固定	F 10－0	表示固定はしません	
	F 10－1	5秒間	
	◆ F 10－2	10秒間	
	F 10－3	15秒間	
	F 10－4	20秒間	
	F 10－5	25秒間	
	F 10－6	30秒間	

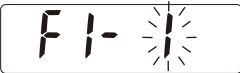
◆は、出荷時設定を表します。

内部設定とは、体重計の動作方法を指定する項目を設定することです。  
この設定項目は閲覧したり変更したりすることができます。  
各項目の内部設定の値は、電源を切っても記憶されています。

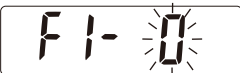


6-1 設定方法

- 1. 電源をオフにします。
- 2. **[ゼロ]**スイッチを押しながらON/OFFスイッチを押すと、電源が入り、最初の設定項目(F1)が表示されます。  
(各項目内容は25ページに記載しています)



- 3. 設定 スイッチを使って設定値を変更します。  
※設置値を変更する必要がなければ何もせずに次に進みます。



- 4. **[50g/100g]**スイッチを押すと、次の設定項目の表示となります。  
※この段階では、新しい設定値が記憶されていません。  
※設定変更を中止する場合は、電源を切ってください。



- 5. 最後の設定項目(F10)までステップ3と4を繰り返します。

- 6. 最後の項目を設定し、50g/100g スイッチを押すと、End が表示されます。

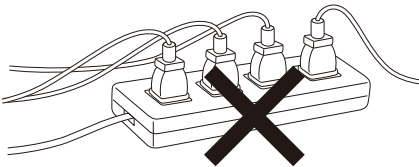


- 7. もう一度、50g/100g スイッチを押してください。  
各設定値が内部に記憶され、体重計は自動的に再スタート(電源オン)します。  
※本ステップ7を行わないと、設定値は変更されません。

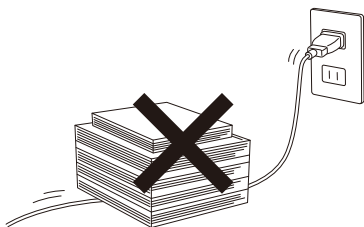


注意

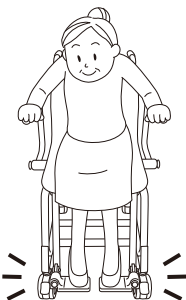
取り扱いを誤ると、障害を負ったり故障の原因となるおそれがあります。  
ご使用の際には、十分ご注意ください。



電源プラグのたこ足配線をしないでください。  
電源は、家庭用電源コンセント(AC100V)から直接取って下さい。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、上に重い物をのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。



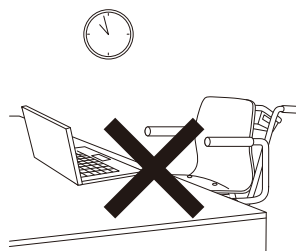
フットサポートは完全に出した状態、または収納した状態でご使用ください。不完全な位置での使用はケガをする恐れがあります。



アームサポートを後ろに回転させる時は、可動範囲内に人や物がいないか十分に確認してください



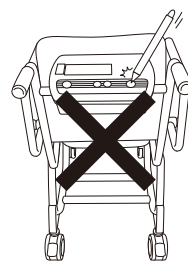
本製品に防水機能はございません。水などをこぼさないようご注意ください。



通常のホームチェアやオフィスチェアとして設計されていませんので、そのような使用はしないでください。



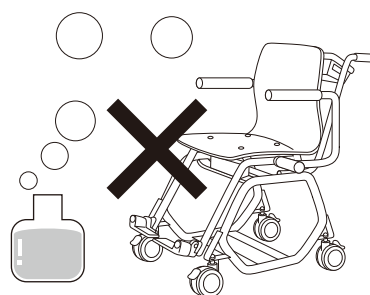
座面の上に物を乗せっぱなしにしないでください。電力の消耗や故障の原因となります。



ボールペン等、尖った物で表示器のスイッチを押さないで下さい。故障の原因になります。



アームサポートの回転は手を添えてゆっくり行なってください。勢いよく回転させるとケガや故障の原因になります。



ホコリや塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらさないでください。また化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しやすい場所での保管は避けてください。

## 操作・測定上の注意

- チェアスケール座面下にあるロードセルはデリケートな機器となっております。  
ロードセルカバーで保護をしておりますが、ロードセルに直接触れたり、ロードセルカバーを強く押したり、ロードセルカバー内部に水や砂などの異物が入らないようにして下さい。  
また、充電電池交換などの際に表示器内部に異物が入らないようにして下さい。
- ボールペンのような先の尖った物でスイッチ等を押さないで下さい。
- 計量値が安定しない場合、“-----”が表示されます。  
計量皿(チェアスケールでは、背座成形合板・肘・フットレスト等です)に何か触れていないか、強い風や振動がないかなど確認してください。原因がわかりましたらそれを取り除いてください。
- パワーオンゼロ(電源を入れた時にゼロ点を認識すること)の働く範囲は、  
キャリブレーション時のゼロ点を中心に、 $\pm 15\text{kg}$ 以内です。  
この範囲を超えるようなものを計量皿に乗せたまま電源を入れた場合は、“-----”が表示されます。  
乗せたものを降ろしてください。
- 風袋引き動作の場合、実際に計量するものと合わせてひょう量(150kgまたは200kg)以内でお使いください。

※その他、安全にお使いいただくために(5ページ～12ページ)を確認の上、ご使用下さい。

## 4-5 各機能の説明

体重測定を行う際の表示器の各スイッチの使い方、機能は以下の通りです。

### ● ゼロスイッチ

〔ゼロ〕スイッチは計量値が安定しているときに働きます。安定でない場合にスイッチを押しても作動しません。  
(安定とは、数値の変動がなく、液晶パネルの左側に記載の安定に○マークが点灯してる状態です)

### ● ゼロ作動

電源を入れた時に取られたゼロ点(パワーオンゼロ)を基準として、計量値が約±2.9kg以内にあるとき  
〔ゼロ〕スイッチを押しますと、その点をゼロ点に設定します。このとき、表示がゼロになります。

### ● 風袋引き

計量値が約±2.9kgを越えている場合、〔ゼロ〕スイッチは計量皿上の重さを容器(風袋といいます)の重さとして差し引きます。表示値はゼロとなり、液晶パネルの左側に記載の風袋引中に◀マークが点灯します。

### ● 風袋引き動作の停止

容器(風袋)を取り除き〔ゼロ〕スイッチを押すことにより、風袋引きはクリアされ液晶左記載の風袋引中にある◀マークは消えます。

### ● 最小表示(目量)切替

計量皿の上に何も無い状態で〔50g/100g〕スイッチを押すことにより、最小表示(目量)を切り替えることができます。  
この時、ゼロ動作を自動的にを行い、さらに風袋引きはクリアされます。

### ● 表示固定

4kgを越えて安定に○マークが点灯した場合、体重計を降りても測定値は表示されたまま固定されます。  
表示固定の時間は”6-2.内部設定一覧”を参照し、”F10”の設定を変更することで変えられます。  
※出荷時は、表示固定の時間は10秒間に設定されています。

### ● 表示固定の解除

表示固定中に±3kgを超える変動があると、設定されている表示時間内でも表示固定は解除されます。

表示固定中に〔ゼロ〕スイッチを押すことにより、即座に表示固定は解除されます。計量値が安定状態ならば、ゼロ動作または風袋引き動作を行います。安定状態でなければ、固定表示の解除のみ行います。

安定でない状態で表示固定が解除された場合、4kgを超えていても再度の表示固定はされません。  
一度4kg以下にすることにより表示固定が可能となります。

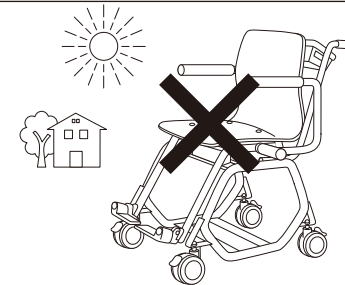
### ● オートパワーオフ機能機能

ゼロ表示が約5分続くと自動的に電源の切れるオートパワーオフ機能があります。”6-2.内部設定一覧”を参照し、”F1”の設定を変更することで機能変更ができます。  
出荷時は、充電池使用時のみオートパワーオフ機能が働くようになっています。

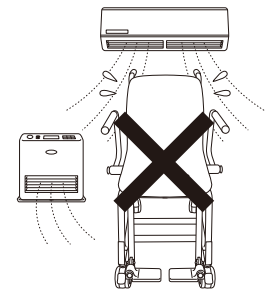


## 注意

体重計としての性能を維持し、正確な体重を測定する為に  
このような場所への設置や使い方は避けてください。



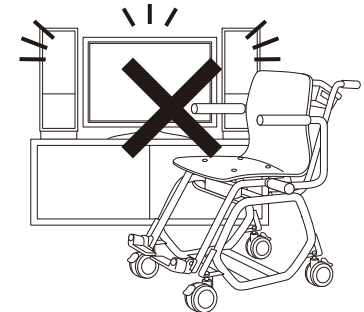
直射日光の当たるところや屋外に設置しないで下さい。設置環境は、温度+5℃～+35℃、湿度85%RH以下(結露なきこと)。保管環境は、温度-10℃～+60℃、湿度95%RH以下を保ってください。



ヒーターやエアコンディショナーの前等、風や湿温度変化の激しい場所には設置しないで下さい。



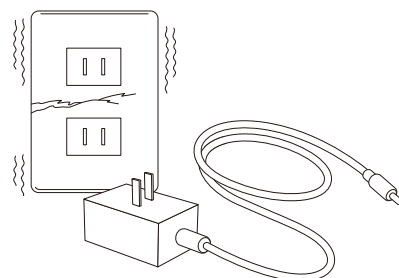
静電気の発生しやすい所には設置しないで下さい。湿度が45%RH以下になると、プラスチックなどの絶縁物は摩擦などで静電気を帯びやすくなります。



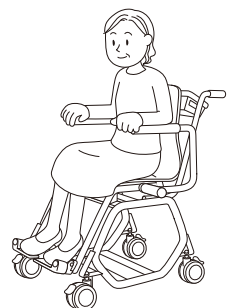
強い磁気や電波のある所には、設置しないでください。



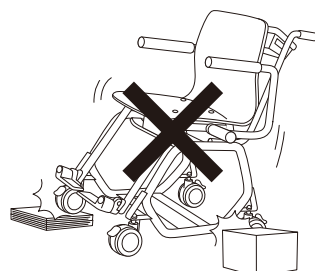
軟らかい床や振動する所には設置しないで下さい。



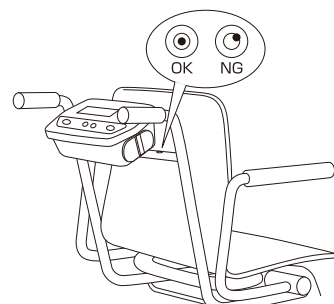
ACアダプタを使う場合、不安定な交流電源は誤作動の原因となります。



体重を測定する時は、静かに乗り、測定が終了するまで体を動かさないで下さい。



キャスターに物をぶついたり、段差で強く乗り越える、高い場所から落とす等の強い衝撃を加えないで下さい。



体重を測定する時は、本製品に取り付いている水平器の中央に気泡がくるように、フラットな床に設置して下さい。



座面の端などに座ったり、一箇所に集中して荷重をかけたりしないで下さい。

④ 表示がゼロになりましたら、チェアスケールに静かに座ります。安定マークが表示され(3ページ参照)、体重が読みとれます。



**注意**

体重を測定の際は、フットサポートに足を置き、床などに足を置かないで下さい。また、体が合板・フットレスト以外に触れないようにしてください。

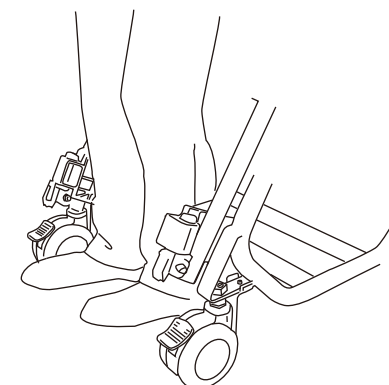


⑤ 測定が終了しましたらチェアスケールから静かに降ります。



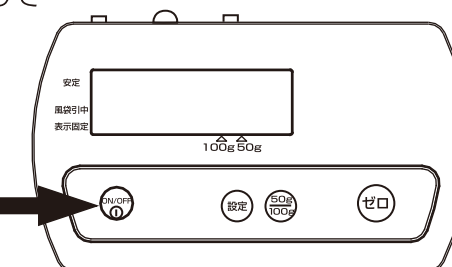
**注意**

チェアスケールから降りるときは、フットサポートを収納して足を床に置いてから立ち上がってください。フットサポートを立ち上がりのステップとして使用しないでください。



⑥ 電源を切るときは、ON/OFFスイッチを押してください。表示が消えます。

ON/OFF  
スイッチ





## 3 はじめに

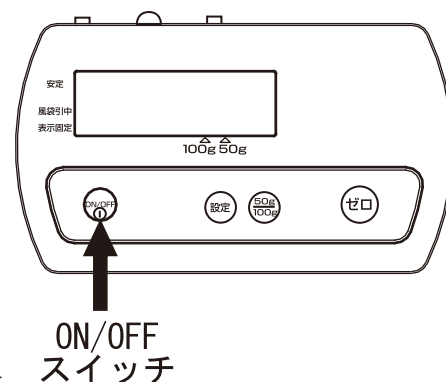
### 5-4 測定のしかた

#### 注意

- ・測定時の安全のため、必ずキャスターをロック（固定）してください。
- ・傾斜地での計量はしないでください。動く危険性があります。  
また、傾斜地では測定値に誤差が生じる場合があります。
- ・キャスターをロックする際は、キャスターを前進状態（前方を向いている）にして下さい。  
キャスターの向きにより、測定値に誤差が生じる場合があります。

① 測定を開始する前に下記の事を確認してください。

- ・電源の確認  
付属の専用ACアダプタか、乾電池・充電電池（オプション）が取り付けられているか確認してください。  
（“4.使用前の準備”参照）
- ・キャスターがロックされているか確認してください。

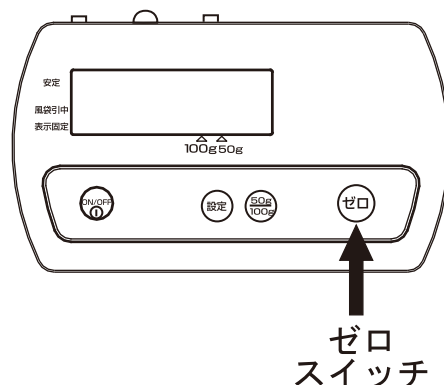


② 表示器の **ON/OFF** スイッチを押して電源を入れます。  
表示チェックが始まり、ゼロが表示されます。

※体重計に物を乗せて電源を入れると “- - - - -”  
表示になることがあります。  
この時は、乗っている物を降ろして電源を  
入れなおしてください。

③ 表示がゼロになっていない場合は **ゼロ** スイッチを  
押して表示をゼロにしてください。

※ **ゼロ** スイッチは風袋スイッチとしても機能します。



### 3-1 概要

- 本製品は、座った状態で計量ができるイス型検定付き精密体重計です。
- 介護を受ける方を、座った状態で安全に計量できます。
- 最小表示100kg・ひょう量200kgと最小表示50g・ひょう量150kgの2通りの  
設定ができます。
- さらに、体重値表示を一定時間固定するホールド機能、寝具などの重量を差し引いた値を  
表示する風袋引機能等があります。
- 電源はACアダプタあるいは乾電池・充電電池（オプション）を使う事ができます。
- オートパワーオフ機能で電気の消耗を防ぐ事が出来ます。

### 3-2 使用の制限

- 最小表示は50gと100gの手動切替になっています。
- 検定付きの体重計の校正はユーザーは行なえません。定期点検等はお買い求めの販売に  
ご相談ください。
- 使用地域の制限  
本器は特定計量器です。  
「取引」や「証明」に使用する場合、決められた重力加速度値で使用してください。  
表示器側面に張付いている銘板に記載された重力加速度範囲内でご使用ください。
- 使用温度範囲  
本器は、使用温度範囲内でご使用ください。



## ●ひょう量と最小測定量

取引または証明に使用する「ひょう量」と「最小測定量」は銘板および表示器に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であることを無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

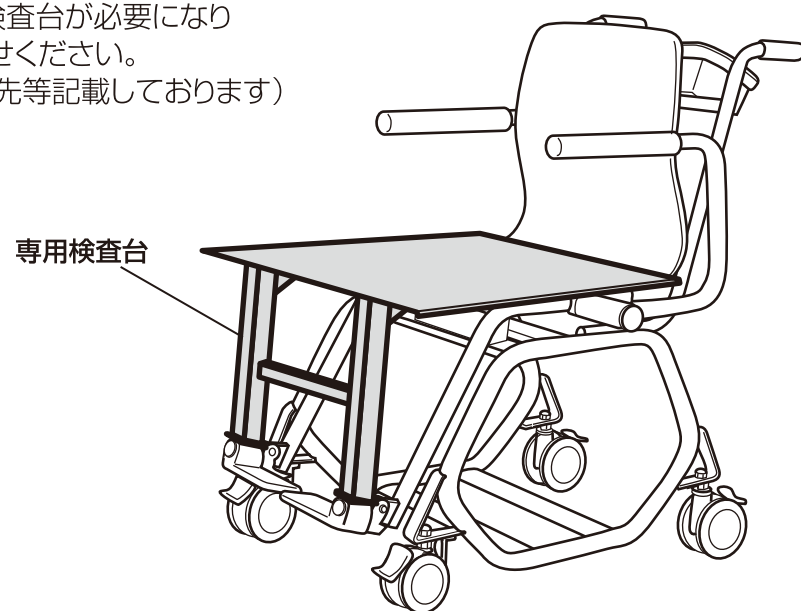
## ●定期検査

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第11条により2年に一回定期検査を受けることが義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県の計量検定所、又はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ●専用検査台について

本器は検定検査の際、専用検査台が必要になりますので弊社にお問い合わせください。  
(32ページにお問い合わせ先等記載しております)



## 5-3 フットサポート回転のしかた

座面に移乗する際は、フットサポートを収納しておくことでスムーズに移乗ができます。  
また、計量中は、フットサポートを出して座っている人の足を乗せ、計量中は床に足などを着けないようにしてください。足が床面についていると正確な測定ができません。



**警告**

移乗のステップとしてフットサポートの上に乗らないで下さい。  
フットサポートが破損し、怪我の恐れがあります。



**警告**

フットサポートの上で立上らないで下さい。イスが転倒し、怪我をする恐れがあります。



**警告**

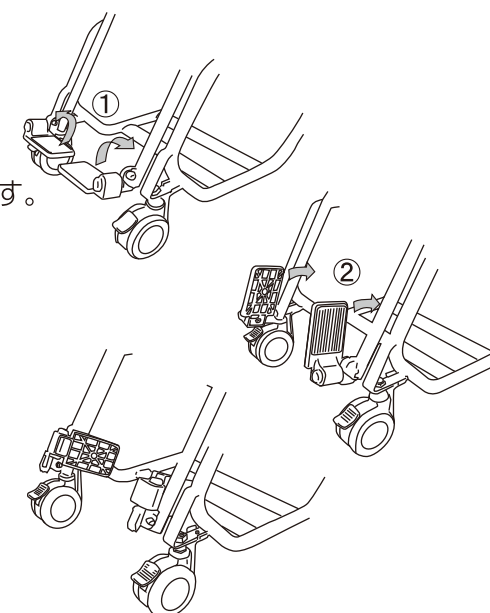
フットサポートは完全に収納や取出しを行なってください。  
中途半端な位置に固定しておく、誤って踏み外し怪我をする恐れがあります。

### ・収納方法

- 1 フットサポートを持ち、図の矢印①の向きに回転させます。
- 2 さらに図の矢印②の向きに回転させます。

### ・取出し方法

収納の順序と逆に回転していきます。



## 4 使用前の準備

### 5-2 アームサポートの回転のしかた

アームサポートを後方に回転させることによりベッドからの移乗などの邪魔になりません。



#### 警告

アームサポートを回転する際は、手を添えて静かに後ろに倒してください。勢いよく倒しますと故障の原因になります。また乗っている人に大きな振動をあたえます。

#### ・アームサポートを後方に回転させる

1. アーム回転ボタンを外側に引っ張ります。
2. アーム回転ボタンを外側に引っ張った状態で、アームサポートを持ち後ろに倒してください。

※この時、アーム回転ボタンは外に飛び出した状態となります。

アーム回転ボタンの根元に赤色のラインが現れます。

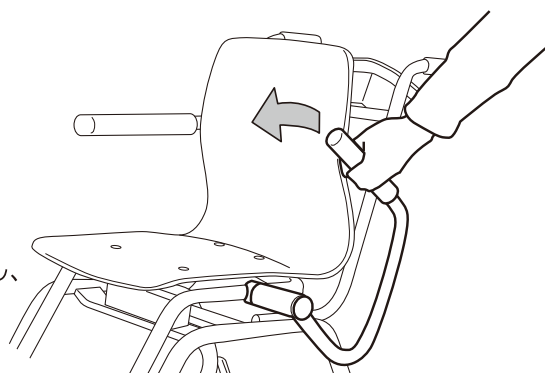
※アームサポートが後ろに倒れた状態ではアームサポートは自由に動き、固定されません。



#### ・アームサポートを元の位置にもどす

1. アームサポートを持ち前に戻します。
2. 元の位置にもどるとカチッという音がし、アーム回転ボタンが内側に引っ込みます。アーム回転ボタンの赤色のラインが見えなくなります。

※必ずアーム回転ボタンが内側に入っていることを確認し、アーム回転ボタンを外側に引かない状態でアームサポートが回転しないことを確認してください。



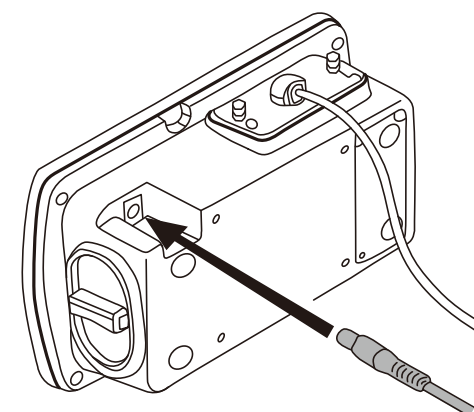
### 4-1 設置

体重計の性能を適切に作動させるために、また安全にお使いいただくために(3ページ～9ページ)をご確認の上、適切な場所に設置してください。

### 4-2 電源の準備

#### ●ACアダプタを使用する場合

1. 付属品のACアダプタ(AX-TB196)を用意してください。
2. ACアダプタ(AX-TB196)の出力プラグを表示器背面のACアダプタジャックに差し込んでください。



#### 注意

専用のACアダプタ(AX-TB196)以外は使用しないでください。

専用ACアダプタ(AX-TB196)は、付属されています。

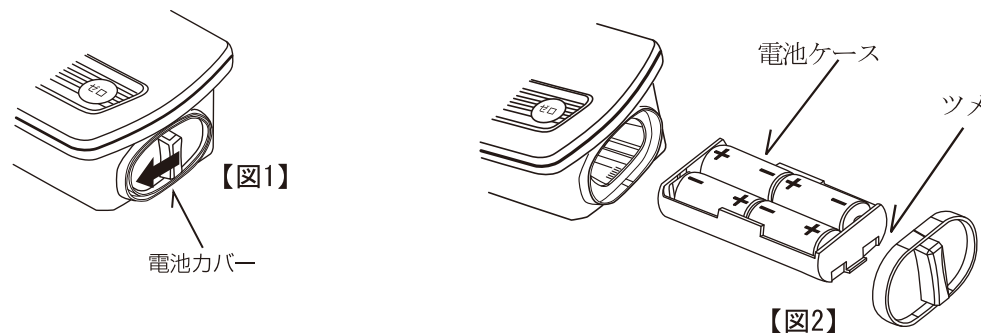
ACアダプタケーブルは背座成形合板・肘等に当たらない様に注意して下さい。

測定値の誤差になります。

## 5 ご使用方法

### ●乾電池を使用する場合

- 1.ACアダプタをコンセントから外してください。  
新しい単2形単乾電池(R14PまたはLR14P)を4本よういしてください。
- 2.電池カバーを右図の矢印方向にずらし、カバーを取り外してください。(図1)
- 3.内部に収納されている電池ケースを一度押し、上に傾けることで  
ツメが外れ、電池ケースが取り出せます。
4. 極性に気をつけて新しい乾電池を電池ケースにセットしてください。
- 5.新しい電池ケースを表示器内部に戻し、ツメがかかるように  
押し込んでください。
- 6.電池カバーを取外しと逆の手順で元の位置に取り付けてください。



### ●充電電池を使用する場合

充電電池(AD6030-01)はオプションで、付属品ではありません。  
ご注文の際は販売店・弊社営業所にお問い合わせください。

1. 乾電池の場合と同じように電池カバーを外してください。
2. 乾電池の場合と同じように内部に収納されている電池ケースを取り出します。
- 3.新しい充電電池パックを表示器内部に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。  
充電電池と電池ケースは一体のパックとなっています。
- 4.電池カバーを取外しと逆の手順で元の位置に取り付けてください。



**注意**

充電電池は、必ず専用オプション(AD6030-01)を使用して下さい。

### 5-1 キャスターの使い方

#### ・キャスターロック機能

キャスターに付いているペダルを下側一杯に踏み込むとキャスターがロックします。  
測定者をイスへ移乗させる時、測定時などは、必ずキャスターをロックして下さい。  
なお、不用意な作動を防ぐため、移動時以外は、キャスターをロックしておくことをお勧めします。



**注意**

キャスターロックは、走行中の本体を止める設計になって  
いませんので、走行中には、ロックペダルを操作しないでください。

